

サービスガイド

¥15,900



1985年10月 発売

概略仕様

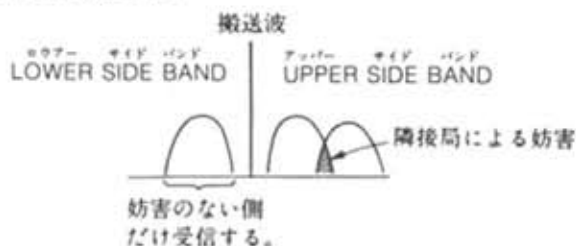
受信周波数	FM : 76~108MHz NSB1 : 3.925MHz, 6.055MHz, 9.595MHz NSB2 : 3.945MHz, 6.115MHz, 9.760MHz MW : 530~1,605kHz
アンテナ	FM : ロッドアンテナ NSB1/NSB2 : ロッドアンテナ、外部アンテナ端子付 MW : フェライトバーアンテナ内蔵、外部アンテナ端子付
スピーカー	直径10cm
実用最大出力	1.3W (EIAJ/DC)
出力ジャック	イヤホンジャック(ミニジャック) 1個
電源	DC 6V、単2型乾電池(SUM-2型、IEC呼称R14) 4個 外部電源ジャック 定格6V 別売りのACパワーアダプターAC-D4を接続してAC 100V電源から使用可能 別売りのカーバッテリーコードDCC-127Aを接続して12V自動車バッテリーから使用可能
電池持続時間	約47時間(EIAJ)ソニー乾電池ニュースーパーSUM-2(NS)使用時
最大外形寸法	264×149×63mm(EIAJ) (幅/高さ/奥行き)
重量	1,050g(乾電池含む、他の付属品含まず)
付属品	キャリングベルト (1) ソニー乾電池ニュースーパーSUM-2(NS) (4) 印刷物一式

【概要】

- FM放送、中波放送(MW)、ラジオたんぱ第1放送(NSB1)、ラジオたんぱ第2放送(NSB2)の4バンドポータブルラジオ。
- 中波放送の高感度受信を実現する長さ18cm、直径12mmのフェライトバーアンテナ内蔵。
- 隣接局によるビート音や混信を軽減する同期検波回路を採用。
- 日本全国の主な中波放送局名を表示した、大きくて見やすい表示板。
- 短波放送はクリスタルを使ったプリセットチューニングで3周波数をワンタッチ切り換え。
- テレビ放送(1~3チャンネル)も受信できるFMワイドバンド。

【同期検波回路について】

中波、短波放送ではふつう、搬送波の上下の周波数帯を使って変調信号を送るダブル・サイドバンド方式が用いられています。隣接局によるビート妨害や混信は、多くの場合、どちらか一方の周波数帯におこります。つまり、妨害を受けていない方だけを抽出して受信できるようにすれば、明瞭な受信ができることとなります。この原理を利用したのが同期検波回路です。ビート妨害がおこったときは、SYNC/NORMAL切り換えスイッチを、UPPERまたはLOWERの、どちらか受信状態のよい方に合わせてください。



FM/MW/NSB1/
NSB2レシーバー
SONY®